

令和元年大船渡市教育委員会第12回定例会会議録

1. 日 時

令和元年12月24日（火） 午後2時00分から午後3時50分まで

2. 場 所

大船渡市役所 教育委員会会議室

3. 出席委員の氏名

教 育 長	小 松 伸 也
教育長職務代理者	柏 崎 正 明
委 員	熊 谷 テイ子
委 員	村 谷 志 保
委 員	鈴 木 晴 紀

4. 説明等のため出席した職員

教 育 次 長	金 野 高 之
生涯学習課長	熊 谷 善 男
学校教育課長	市 村 康 之
図 書 館 長	金 野 優 子
生涯学習課長補佐	新 沼 裕 一

5. 議 事

議案第1号 令和元年大船渡市議会第4回定例会に追加提案する議案（教育に関する事務について定める部分）の作成に係る臨時専決処理に関し承認を求めることについて

議案第2号 学校給食費の改定に関し議決を求めることについて

6. 報告事項

（教育次長）

- ① 令和元年大船渡市議会第4回定例会について
- ② 学校統合推進協議会の進捗状況について
- ③ 組織体制（案）について

（生涯学習課長）

- ① 令第29回ふるさと・おおふなとお話大賞の選考結果について
- ② 乳幼児学級及びふるさと・おおふなとお話大賞の来年度以降の対応について
- ④ 令和元年度大船渡市立博物館教育普及事業 たいけんコーナー「博物館で缶バッチづくり」の実施について
- ⑤ 令和元年度大船渡市立博物館教育普及事業 体験学習会「土偶をつくろう！」の実施について

- ⑥ 令和2年大船渡市成人式の開催について
- ⑦ 東京2020オリンピック聖火リレーについて

(学校教育課長)

- ① 第6回市内小・中学校長会議の開催結果について
- ② 日頃市中学校・越喜来中学校・吉浜中学校の閉校式の開催について
- ③ 市内小・中学校等の冬休み期間について

(図書館長)

- ① 大船渡市読書感想文コンクールの来年度以降の対応について
- ② 大船渡市立図書館における新聞保存期間の見直しについて

7. 会議の概要

(教育長)

- ・令和元年大船渡市教育委員会第12回定例会の開会を宣言する。
- ・令和元年第11回定例会の会議録について、質問、意見を求めた結果、委員の承認を得る。
- ・諸報告事項について、事務局等の説明を求める。

(教育次長)

- ・別添資料等により報告する。

(生涯学習課長)

- ・別添資料等により報告する。

(学校教育課長)

- ・別添資料等により報告する。

(図書館長)

- ・別添資料等により報告する。

(教育長)

- ・追加報告を求める。
- ・追加報告がないことを確認後、報告事項についての質問、意見を求める。

(教育長職務代理人)

- ・学校統合について、12月6日付東海新報に校名が「おおふなと中学校」に決定したと大きく報道された。校名がひらがな表記になったことについて、今後、生徒や保護者に説明し、理解を求めていくことが重要であると感じている。

(教育次長)

- ・「大船渡中学校」という校名を残したい方々と新しい校名にしたい方々、双方の意見の折衷案として、ひらがな表記に決まったと感じている。
- ・子ども達には、学校を通じて周知を図っていきたい。

(教育長職務代理人)

- ・前回の統合推進会議では、校名の候補は「大船渡南」「大船渡港」、「大船渡」から決定するとしていた。ひらがな表記での「おおふなと」は候補には無い。決定するにあたり、再度、保護者全体や生徒等から意見を聞くなど、話し合う時間があれば、みんなが共通理解し、新しい校名に臨むことができたのではないかと。

(教育次長)

- ・今後、統合推進協議会の会議などにおいて、振返る必要性は感じている。

(教育委員)

- ・組織体制について、「協働まちづくり部」の「職員は相互に兼務」とは、どのような形なのか。

(教育次長)

- ・市民協働課は、現在の市民協働準備室の流れを汲む。市民と行政が協働して、まちづくりを進めていくには、地区公民館が担ってきた役割が大きいため、地区公民館長がまちづくり推進員として兼務している。また、生涯学習部門の果たす役割も大きいため、協働のまちづくりに向け、市民協働課、生涯学習課、中央公民館が連携を密にしていく必要があることから、職員が相互に兼務する体制とした。

(教育長職務代理者)

- ・平成30年度第3回総合教育会議において、平成31年度から生涯学習部門の市長部局への移管について、大船渡市議会より時期尚早との意見があり見送ることとしたと報告があった。その後、各地区での合意形成や市議会での議論等はどのように行われてきたのか。

(教育次長)

- ・今後の進め方についての協議を議員の方々とも行っている。その一つの成果として、モデル地区を設定し、協働に向けたワークショップを年明けに実施することとしている。この成果を踏まえ、他地区にも進めていき、地区運営組織を地区公民館に代わる組織として各地区に設置していくこととなる。その実現に向け、庁内体制を整える必要があるため、令和2年度からの組織再編について、これから市議会に持ちかけていくこととなる。

(教育長職務代理者)

- ・今年度の第1回総合教育会議において、地域と学校の協働体制づくりについて意見交換した。今後、地域と学校の協働による取組みを積極的に進めていかなければならない。生涯学習部門との連携が鍵となる。生涯学習課が教育委員会から離れるが、あくまでも教育委員会が主体となって進めていくのか。

(教育次長)

- ・具体的な役割等については、次回の教育委員会定例会で協議したい。
- ・生涯学習分野は補助執行となる。教育委員会の業務を市長部局が担うという位置づけであるため、今後も連携して進めることができると考えている。

(教育長)

- ・コミュニティスクールは学校運営において地域との協働であるため、学校が主体となり進めていくこととなる。

(教育委員)

- ・これまで教育委員会が担ってきた分野が補助執行となる。きちんと分かりやすい体制にしなければ、有耶無耶になってしまう部分がでてくるのではないかと。

(教育次長)

- ・その懸念を考慮し、中央公民館という組織をそのまま市長部局に移管し、補助執行という形とした。市民の方々にもわかりやすい体制とするため、配慮しつつ進めている。

(教育長)

- ・中央公民館は地区公民館の上位組織ではなく並列の関係にある。各地区の運営組織が完全に出来上がるまでには、ある程度の年数が見込まれるだろう。その間、中央公民

館の事業を市民協働課と生涯学習課の事業とするのではなく、教育委員会の主管とし、事務を協働まちづくり部が執行することとした。

(教育委員)

- ・「キャリアパスポート」は、どのような様式にするのか。

(学校教育課長)

- ・小学校から中学校まで同じファイルを使用し、学年ごとに追加していくものを考えている。様式については、来年度は、大体の学校で県の様式を使用すると思われる。今後、学校によって様式を変更しても、ファイル形式ならば対応可能である。

(教育委員)

- ・80 時間以上時間外勤務をしている教員が、9・10 月ともに中学校は 10 人以上いる。部活動によるものが多いが、80 時間は多すぎる。学校長に指導や助言等をしているのか。

(学校教育課長)

- ・80 時間を超える教職員について、学校において心身の様子を確認しながら、場合によっては医師の面接につなげている。平成 29 年度に要綱改正し、本人が希望しない場合も教育長勸奨により面接指導を実施できることとした。
- ・学校でも時間外を削減する取組みを様々実施しているが、顧問がいない状況で部活動を実施することは難しい状況である。

(教育委員)

- ・部活動での時間外勤務は、土日も含むのか。

(学校教育課長)

- ・土日含まれている。部活動の方針を市で示しており、基本的には土・日のどちらかのみ活動としている。しかし、大会が近くなると練習試合など土日で活動することもある。その場合は、違う日を部活動休養日にすることを指導している。

(教育長)

- ・100 時間を超えている方は、ほとんど同じ方である。昨年度は 2 名、産業医の面接指導も行っている。学校長と教育委員会の両面から指導を継続していく。

(教育長職務代理者)

- ・「乳幼児学級」、「ふるさと・おおふなとお話大賞」について、今後は、子ども課や子育て世代包括支援センターが親子の交流や子育てに関する各種催し等を開催し、図書館が市民の読書推進をより効率的効果的に進めていくことから、発展的な解消と捉えている。
- ・「大船渡市読書感想文コンクール」を県の読書コンクールと一本化とすることも賛成である。代わりとして、おすすめの本を紹介し合う読書会を展開していくとのことだが、対象者を絞って開催していくことが大切になってくるだろう。

(図書館長)

- ・従来から実施している「ブックスタート」、「おはなしパレード」など、幼児を対象とした事業は好評で、今後も継続していく。おすすめの本を紹介し合う読書会なども、対象を絞りながら、より身近に本を感じられる事業を展開していきたい。
- ・今年度より、NPO 法人と共催で手作り絵本教室を始めた。希望者は県立図書館で行っているコンクールに出品することもできる。来年度も実施する予定である。

(教育委員)

- ・「おたのしみ親子劇場」、「おはなしパレード」の支出はどのようなものか

(図書館長)

- ・ボランティアの方に1回あたり500円の図書カードを渡している。また、色紙などの消耗品といった経費を支出している。

(教育長)

- ・その他、質問、意見がないことを確認後、諸報告を終了する。

(教育長)

- ・開議を宣言する。
- ・日程第1、会期の決定について、会期を1日とする。
- ・日程第2、議案第1号について、説明を求める。

(教育次長)

- ・日程第2、議案第1号 令和元年大船渡市議会第4回定例会に追加提案する議案（教育に関する事務について定める部分）の作成に係る臨時専決処理に関し承認を求めることについて、説明する。

(教育長)

- ・議案第1号について、質問、意見を求める。

(教育長)

- ・質問、意見がないことを確認後、議案第1号について諮る。
- ・全員異議がなく、議案第1号を原案どおり承認する。

(教育長)

- ・日程第3、議案第2号、説明を求める。

(学校教育課長)

- ・日程第3、議案第2号 学校給食費の改定に関し議決を求めることについて、説明する。

(教育長)

- ・議案第2号について、質問、意見を求める。

(教育長職務代理者)

- ・先日、岩手県内の学校給食費の改訂について報道されていたが、自治体により給食費の金額に差があった。自治体からの補助額の差によるものなのか。

(学校教育課長)

- ・自治体からの補助は一律ではないため、その場合もあるだろう。また、人数、日数や使う食材等によっても変動すると考えられる。

(教育長)

- ・その他、質問、意見がないことを確認後、議案第2号について諮る。
- ・全員異議がなく、議案第2号を原案どおり可決する。

(教育長)

- ・その他、質問・意見、追加議案がないことを確認後、議案審議を終了する。
- ・令和元年大船渡市教育委員会第12回定例会の閉会を宣言する。

会議録作成者 教育長 小松伸也

会議録署名者 教育長

教育長職務代理者

委員

委員

委員